

精神薄弱者（通所）授産施設「八風園」を訪ねて

編 集 部

はじめに

以前から大分県は精神薄弱者通所授産事業については熱心な土地であると聞いていた。

中でも、「八風園」が先進的な授産施設であり、宗教者（浄土宗）である丹羽演誠師とその協力者による曉雲福祉会の経営にかかるものとして、かねてから耳にして久しく、一度は是非訪ねたいと念願していた。

漸く、機会を得て、昭和六十三年二月に訪ねることができた。

日豊本線の坂ノ市駅で下車れば最も近いのに、丹羽一誠師のご親切なご案内のお手紙と行違ひになり、私は大

分駅で下車してタクシーに乗ったので、約四十分、田園や森の中を通過して、小高い丘に囲まれた「八風園」に着くことができた。車中で何回も、善導大師の往生礼讃の中の「千台千宝合、音楽八風宣」の句を念誦したことであった。

「八風」とは

八種の清風を謂うのか、極楽の莊嚴の一つであり、観無量寿経には「八種の清風、光明より出づ」とあり、善導大師の往生礼讃には「千台千宝合して音楽八風を宣ぶ」とする。天台の観経疏には「彼処は実に時節なし、若し此の八に寄せば、謂わく、上下を除き余の四方四維

なり、故に八という」と述べられている。要するに八方から吹く清涼の風と解してよいのではないか。佛の光明に照らされ、極楽の清風に吹かれて、心身共に柔軟（じゅうあん）となり、善心生じて、丹羽演誠師の言を借るならば、「佛と共に、手を取りあって、仲よく喜び、日々覚めて仕事に励む」そのような和合の場となるのではないか。

.....

瀟洒な白亜（屋根は紅いが）の平屋建の園舎が鍵の手に建てられていて、窓が大きく明るい感じを与えている。玄関から一誠師の案内で、奥の畳敷の一室に通されると、そこは仏間になっていて、法然上人の御影が祀られていた。合掌称念の後、ここで理事長である演誠師もお待ち下さっていて、ご挨拶をし、いろいろとお話を伺うことができた。

演誠師の円熟された風貌と、一誠師の気鋭を秘められた壮顔は、併せて親子一体の観があった。

さて、大分県は精薄者施設を四十数ヶ所を擁しており、そのうち授産施設だけでも、収容施設三、通所施設十二

を有している。定員は四九二名となっているが、薄弱者は七〇〇名前後いる（昭和五十八年現在）と言われている。加うるに障害がますます多様化し重度化し重複化し、障害者が高令化し加令化して行く現状で、その対応は愈々多難である。この背景の中で、八風園を紹介してゆこう。

○八風園の沿革

昭和五十三年四月に、大分県下での精神薄弱者通所援護事業の第一号施設として、丹羽演誠師を所長として、佐賀関町正念寺内に『佐賀関授産所』が開設された。四年後の昭和五十七年四月に、国際障害者年と善導大師御遠忌とを記念して、社会福祉法人・曉雲福祉会「八風園」として、発展再出発し、広域的に展開することとなった。即ち大分市木田の現地に開園し、定員三〇名、大分市では民間施設第一号であった。昭和六十一年三月にはお年玉ハガキ寄付金の配分金その他の補助で作業棟（四二㎡）を新築した。また通所に便を与えるため、寄贈を得て二十六人乗りのマイクロバス二台を備えている。大分市内

外から男子十四名、女子十六名、IQ平均三七・八、S
Q 四七・四、年令十八〜四六才、の人々が通所している
のである。

○設置の目的

イ、十八才以上の精神薄弱者で、雇用されるのが困難
な者を入所させて、自活に必要な訓練を行うとともに、
職業を与えて自活させる。

ロ、仏教精神に基く人格の形成（明るく、正しく、仲
よく）（八風園のねがい―底ぬけに、人を信ずる人間と
なろう。よろこんで、あたえる人間となろう。いのちを
大切に作る人間となろう。かんがえぶかい人間となろう。
しめいにいきる人間となろう。規律あるしあわせを、よ
ろこぶ人間となろう。―これを読むと、園生へのねがい
であると同時に、丹羽一家の信条であり、一般社会人に
対する教化の宣言でもあり要請のような気がするのは私
独りではないだろう）。

前記の目的達成のためにどのような指導が行われてい

るのか、まず日課から伺ってみよう。

○日課

九時、登園。九時十五分、朝礼。

九時三十分 ミーティング

← 作業

十二時

← 昼食

十三時

← 作業

十四時三十分

← 休憩

十四時四十五分

← 作業

十六時

← 清掃 終礼

十六時十五分 降園

土曜日は、仏教講話、クラブ活動などの余暇指導時間と
し、十二時三十分以降園する。

○作業について

各人の能力にあった作業をすることにより、仕事に対してよろこびを持ち、社会に参加することを目的とする。

授産の種類

紙箱の組立て（印刷紙工会社）、その他の協力（指導）
（海苔販売企業）
を得て作業を行っている。

乾しいたけ袋づめ。シール袋はり。

もみのり袋づめ。

割箸の袋入れ。（これなどは平均IQ一九・五の重度の精薄者が数名就労している）このほか、陶芸民芸品（土鈴、小動物、壺、皿等の製作をする）があり、隣接農地を借入れ蔬菜作りなどの農業も行っている、柚子、ほおづき、芋、椎茸の栽培もしている。

勿論、各人の生産高や級別によって工賃は支払われるわけである。（工賃の上昇が常に考えられている）作業には、三段階に分けて簡易なものから次第に訓練して、生活コース→授産コース→職業コース→社会復帰（→就職・結婚までのアフターケア）

とし、園生には、常に一ランク上のコースを目標とする

この意識付を行い指導に当たっている。

社会復帰（就職・結婚）に備えて、園内・園外での就労実習・体験学習・調理実習なども行い、心身障害者職業センターで全員職能検査を受けさせ、本人の意志・本人の能力・家庭側の理解と協力の三点を考慮して就職させるよう努力している。

一般社会への就職については、なお、自宅通勤ができる範囲の職場、精神薄弱者に対して理解のある職場、の二点をポイントに置いており、職場実習を重ねると共に、職業安定所と連絡をとりあい、職場開拓を行っている。さらに、已に就職している者に対するアフターケアは毎月1回、巡回指導により行っている。

既に十数名が就職している。

○年中行事

始業式（四月上旬）

花見（新入生歓迎会）（四月中旬）

奉仕活動（五月上旬）

例、白山コスモス植え、大河内神社清掃、その他

スペシャルオリンピック（六月上旬）

キャンプ（八月下旬）

家庭訪問（九月）

精薄者愛護月間奉仕活動（九月）

学習映画鑑賞

職場見学

心身障害者交流会参加（十月上旬）

例、ぶどう狩り、その他。

運動会（十月下旬）村民も参加。

社会見学旅行（十一月）

例、阿蘇方面、日田の旅、その他。

防火訓練（通報・避難・消火等）

卓球大会参加

モチつき（十二月）

成人式兼新年会、映画観賞（一月）（カラオケ大会）

就職者内定（二月）

保護者個別面談（三月）

修業式（三月下旬）

以上のほかに、年次によって他の行事も加えられて

いる。精薄者にとって情操教育が大切であることは言うまでもない、そこで六十一年度行事の中から抜記してみても、

ウィーン少年少女合唱団鑑賞

佛教大学学生人形劇鑑賞

劇団四季公演「嵐の中の子供たち」

自動車労連人形劇「長靴をはいた猫」鑑賞

等々がある。

○宗教行事

この施設の目標としている佛教信仰による人格の形成のためには欠くべからざる肝要な行事であり、毎月土曜日には勤行と法話（スライド）、音楽法要を行って、テキストには全国青少年教化協議会発行の「ほとけのおしえ」と「八風園勤行式」を用いている。

特に四月には、花まつり、宗祖降誕会

八月には、お盆

九月には、秋のお彼岸

十二月には、成道会、佛名会

一月には、修正会、御忌会

二月には、ねはん会

三月には、春のお彼岸

を行い、それぞれスライド・リーフレット・カレンダー・等を用いたり与えたりしている。

その他に、丹羽園長は毎朝おつとめを行い、園に關係のある物故者の供養と園内の安全祈願しており、職員は、受戒会や浄土宗社会福祉事業協会の企画する研修会に参加して素養を培っている。また「園だより」に「法のしづく」として香語をのせたり、カレンダーを園内各室に掲示している。

なお、昼食時には食作法を行い感謝の心を養っていることは言うまでもない。

○ボランティアについて

毎土曜日のクラブ活動には、茶道・華道・手芸については篤志家のボランティアがあり、また卓球についても、コーチのボランティアがあり、その他、陸上競技等によって、体力作りを行っている。

ボランティアと言えば、農業指導をしてくれる人もあり、また父母の会その他が毎月除草や清掃に来てくれる。モチつきにはライオンズクラブの人々が参加してくれる。そのほか、毎月県内各地から種々の団体が慰問激励に來園している。

なおボランティアについて言えば、昭和六十一年、八風園開園五周年記念式に表彰を受けられた人々の中に、団体として、木田の大河内地区全戸二九戸が、開設当初から土地の提供・農業指導・行事参加等地域一丸となつて支援協力してきたことが挙げられていて嬉しい限りに感じられる。

また、佐賀関授産所の指導員として五年間協力し、其後も母の会と共に手芸品づくりを続けて計十年、その益金を寄付し続けた篤志な婦人もあった。

なお、近隣の養護学校からの実習生を毎年度五名から十七名（いずれも延人員）を受入れている。

○職員の研鑽について

施設の性格上、職員の研鑽は誠に重要である。毎月各

種の会議を開いて討議研究している。月別行事の企画説明、質疑検討。連絡事項、改善、注意事項、作業指導及び授産に関することの検討、生活指導に関することの検討、園外研修の報告、個々の人のケース検討、年一回は講師を招いてケース研究会を行う、毎月行事の反省、特別企画の検討と推進、（昭和六十三年三月には、職員の研究をまとめた「八風園研究紀要創刊号」を発刊した）。園内外の研修に参加して資質の向上を図る、特に施設職員としてのモラルと専門性の確立に努める。図書の充実を計る。資格の取得を推進する。職員の適材適所の配置と自己開発（積極性・専門性・研究）の推進。事故防止の為の定期的研修会の開催などが実施されている。

○八風園の規模について

土地 敷地面積 二、七〇六・九五 m^2

建物 1、鉄筋コンクリート造平屋建 五〇一 m^2

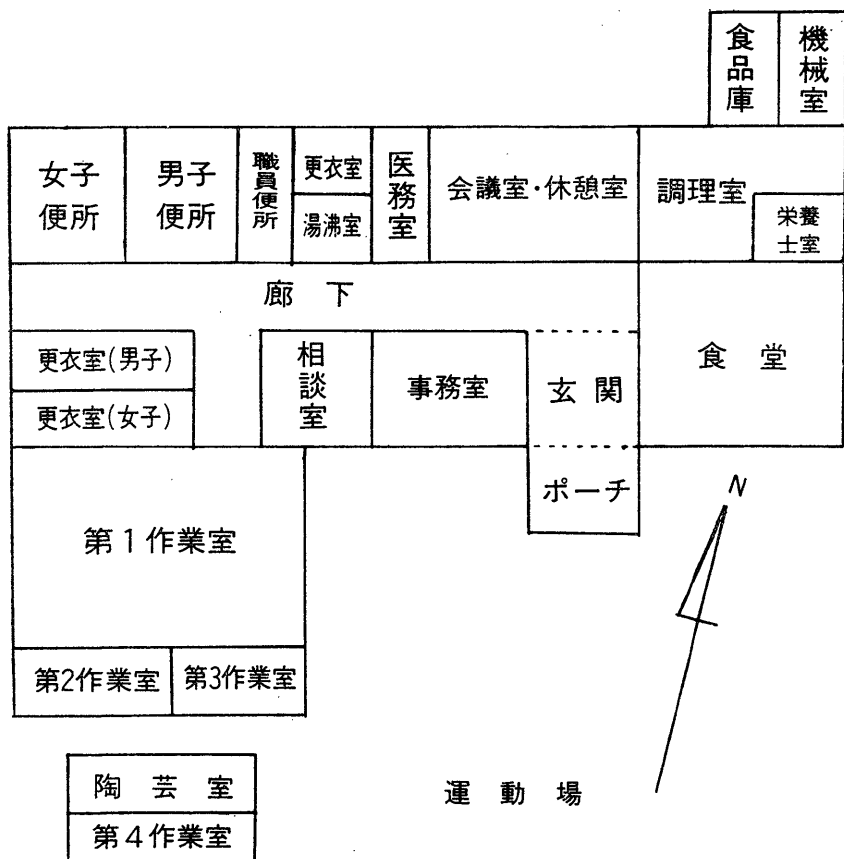
2、鉄骨造スレート葺平屋建 四二 m^2

第1棟には、玄関・事務室・相談室・食堂・調理室・食品庫・機械室・会議室・休憩室・医務室・湯沸室・更

衣室・職員便所・男子便所・女子便所・男子更衣室・女子更衣室・第一作業室・第二作業室が設置されており、第2棟には陶芸室・第4作業室が設けられている。

第1棟は昭和五十六年の創建であり、主体工事費は五、九二八万円、暖房装置五三八万円、浄化槽一六〇万円、その他一、四〇三万円、総計八、三〇〇万であり、うち県費補助四、五四六万円、市補助七五七万円、設置者負担二、七二五万円、宗費補助一、九二五万円、その他医療事業団等からの助成があった。

第2棟は昭和六十一年に増築されたもので、お年玉ハガキ配分金三四〇万円のほかに、自己資金一〇万円、県から一三七万円、市から二三万円、自転車振興会から四万五千元、それぞれ補助を得ている。因みに陶芸用品一式（七一万七千円相当）は自動車労連からの寄贈であるという。



○八風園の会計規模をのぞいて見ると

昭和六十二年三月三十一日現在で、

貸借対照表では、

借方	流動資産	一八、五四五、〇〇七円
	うち預金	一八、三七四、七九五円
	貸付金	一七、〇二二円
	固定資産物品	一一、一〇三、九六〇円
貸方	流動負債	一一、二二二、二三六円
	うち未払金	一、〇七三、七〇一円
	預り金	一三八、五三五円
	運用財産基金	一一、一〇三、九六〇円
	前期繰越剰余金	一五、〇五五、六六二円
	当期剰余金	二、二七七、一〇九円
	負債純財産合計	二九、六四八、九六七円
会計収支計算書（昭和六十一年四月一日～昭和六十二年三月三十一日）		
借方	事務費支出	三七、五九六、三六五円
	事業費支出	五、九二六、六〇五円
	当期剰余金	二、二七七、一〇九円
合計		四五、八〇〇、〇七九円

貸方 措置費収入

寄付金収入

雑収入

合計

四〇、九三九、五六〇円
三、六五六、五〇〇円
一、二〇四、〇一九円
四五、八〇〇、〇七九円

そして、八風園の経営主体である暁雲福祉会の会計貸

借対照表では、

借方	流動資産	二、五二二、六八九円
	うち預金	
	固定資産	
	うち建物	八二、五八一、八〇六円
	土地	一〇、六六七、六〇〇円
合計		九五、七六二、〇九五円
貸方	設備資金借入金	四、〇〇〇、〇〇〇円
	基本財産基金	九三、二四九、四〇六円
	固定負債積立金	△四、〇〇〇、〇〇〇円
	前期繰越剰余金	二、三六七、〇七五円
	当期剰余金	一四五、六一四円
合計		九五、七六二、〇九五円

となっており、

収支計算書では（昭和六一・四・一～六二・三・三一）

借方 事務費支出 一、〇〇三、二九〇円

元利償還金 四、四五一、三二九円

固定資金取得費 三、五五二、二九〇円

当期剰余金 一四五、六一四円

合計 九、一五二、五二三円

貸方 補助金収入 一一〇、四〇〇円

寄付金収入 五、〇五一、〇〇〇円

雑収入 五九一、一二三円

設備資金借入金収入 三、四〇〇、〇〇〇円

合計 九、一五二、五二三円

であり、堅実な経営であることが判然としている。経済的な基盤が安定していることが、園全体の運営の充実発展の必須条件でもあろう。

○役員組織について

八風園が順調に発展し、その経営主体である社会福祉法人暁雲福祉会が健全に運営されているのには、丹羽演誠理事長を始め理事七名、監事二名の役員達が、地域から絶対の信頼を得ていることが基盤となっている。

演誠師について言えば、人格識見、家庭の物心両面の安定、斯業に対する熱意等々が優れていて、社会的信望が篤いことが証明されているのである。

早くから社会事業に関心を持ち、前任職地である福岡の正法寺に昭和二十六年から保育園を経営し業績を挙げ、昭和四十二年に現任職地佐賀関正念寺に転住してからは、特に精神薄弱者援護に関心を強め、前述の「佐賀関授産所」を開設し、四年後、これを発展改体せしめて暁雲福祉会を組織し、其後、八風園の開設、経営に傾注してきたのである。

師はまた、法務大臣委嘱の保護司歴も永く且つ熱心であり、多年地区会長を勤め更生保護事業界では県内外に令名が高いのであり、現在、他にも調停委員、人権擁護委員、教誨師、精薄者相談員、北海部郡障害児学級育成会会長等々、法務厚生両関係の公職を勤めている。よって、各方面から数々の感謝状や表彰を受けているが特に昭和六十三年十月には法務大臣表彰の荣誉に輝いている。勿論、住職として檀信徒の教化に尽力していることも人後に落ちないのであり、暁雲福祉会の役員として誠心

誠意協力している有力檀信徒もいるのである。浄土宗関係では昭和四十九年以来多年大分教区教化団長としてその功績が認められている。

演誠師は八風園の園長をも兼ねているが、令息一誠師が副園長として実務に当り、日々職員（指導員、調理員等九名）と共に、園生の世話に万全を期している。師は大正大大学院を卒業し社会福祉理論の実践を志し、演誠師を助けて現場で真摯な努力を続けているが、常に実践理論研究を忘れない事業家であり学徒でもある。益々斯業界に光を掲げるものとして囑望されている。職員も日常業務にも、研究にも一致協力しており、「八風園研究紀要」を一見するとよくわかる。

念仏者の福祉考

丹羽 演誠

地域と施設との協力について

池田 武利（指導員）

―地域交流活動実態調査アンケート調査報告―

レクリエーション―運動会―について

木崎 恵三（指導員）

余暇の過ごし方について

佐藤 治代（指導員）

通所授産施設に於ける重度障害者の自立にむけて

施設給食について

―この一年間を振り返って―

給食考

―明るく・楽しく・おいしい食事を目指して―

研究会の開催経緯

丹羽 一誠（副園長）

処遇困難事例（M・Uくんの場合）

伊藤 淳（指導員）

処遇困難事例（A・Nさんの場合）

羽田 智美（指導員）

研究会における講義

1、自閉症について（養護学校教諭）

安東 明

2、自閉症について（短大講師）

井上 秀子

3、自閉症とは（園生の母）

深見 憲

4、自閉症について

（小児科院長）

藤本 保

5、自閉症とは（精神者更生相談所心理判定員）

矢頭 道三

B5判九三頁に亘るもので、一読して、充実した内容

と感嘆した。今後の実践向上に大に期待したいと思った。

なお、一誠師は、自坊である大分市字細の法然寺に、

昭和六十二年十月から、精神薄弱者軽作業所「ルンビニ

藤田 七代（生活指導員）

上木 みゆき（調理員）

安達 知津子（調理員）

「八風園」を開設しており、現在既に五名が通園している。「八風園」に入れない人達のために此処の拡充をも望みたいものである。

○今後の事業計画

- 1、更生施設「八風・カルナの里」の創設。入所人員五〇名（内一〇名通所・精薄者老人）
- 2、通所授産施設「八風園」の定員増加。現員三〇名を三七名にする。作業室・園舎の増築。
- 3、暁雲福祉会後援会会員募集。趣意書・会則を配布し（法人会員二〇〇口、個人会員二五〇口目標で）加入をすすめる。
- 4、役員研修会の開催、施設見学、定例理事会の完全実施。
- 5、地域啓蒙。「暁雲福祉会だより」を年一回発行。
- 6、附属研究所の設置。
- 7、新規収益事業（福祉工場）の研究。

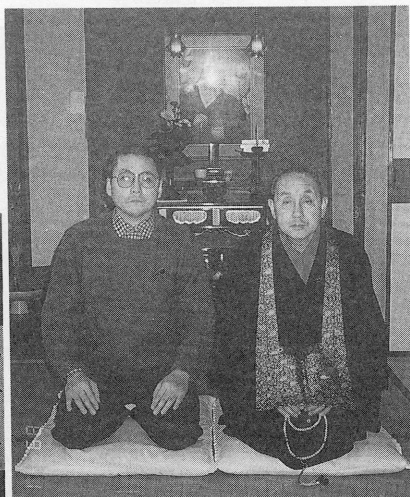
○内助の功

演誠、一誠二師の業績の陰には幾多の苦勞があったことであり、これからも忍苦が続くことであろう。特にその裏面で内助の功を積まれている演誠師夫人万千子さん、一誠師夫人和美さんの存在を忘れてはならないであろう。さらには一族及知友の協力も想われるのである。施設職員は言うに及ばず、ボランティア諸氏、慰問激励してくれる諸団体、寄附援助の諸氏、諸団体、作業に協力してくれる諸企業、修了園生を雇用してくれる諸企業、保護者を始めの後援会員、行政諸官庁、地域諸団体等々尊い無量の縁が結ばれていることに合掌させられるのである。しかし、一般的に言ってまだまだ、心身障害者の将来の生活不安や、友人のないことや、地域社会の理解の薄いことは、本人達をはじめ保護者・関係者の大きな悩みである。

社会福祉諸施策が後退してゆくと伝えられる現今、新しく平成元年を迎え、より良き進展に転換されるよう祈るや切なるものがある。



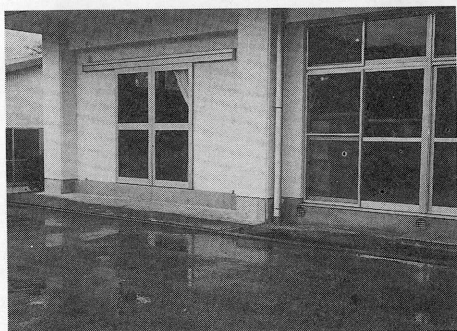
園長室における演誠師



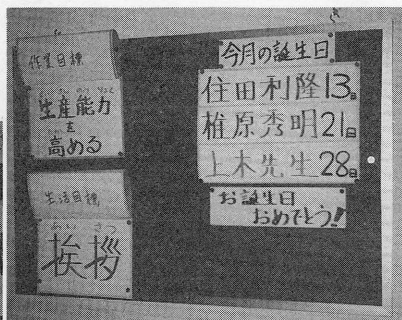
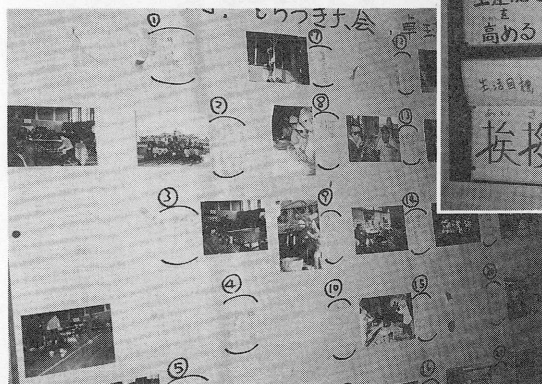
右 園長 丹羽 演誠師
左 副園長 丹羽 一誠師



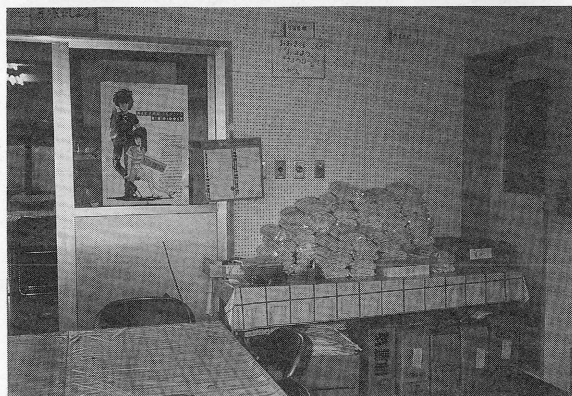
玄 関



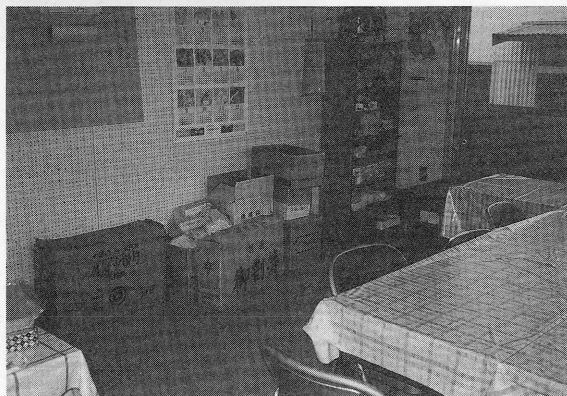
外 廊

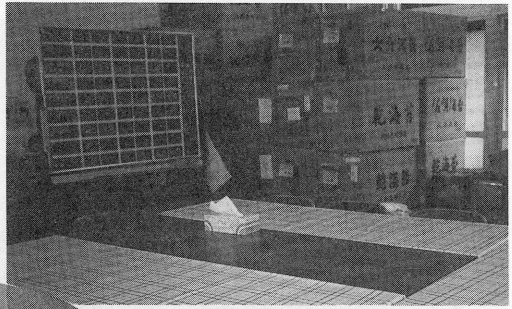


▲◀廊下の掲示

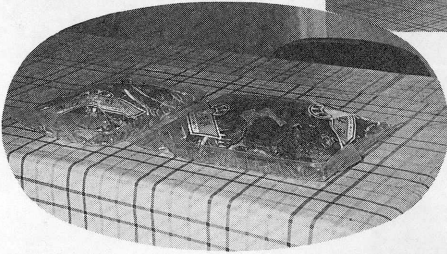


木割箸袋入れ授産室▲▶



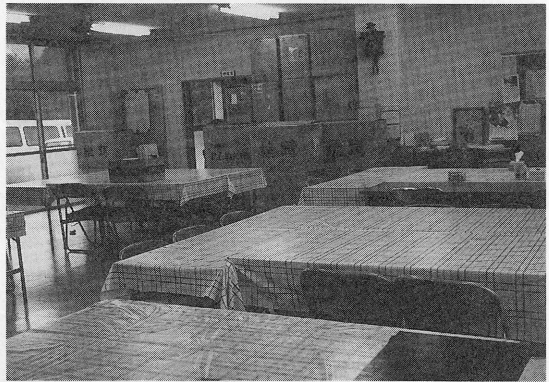


乾海苔袋入れ授産室

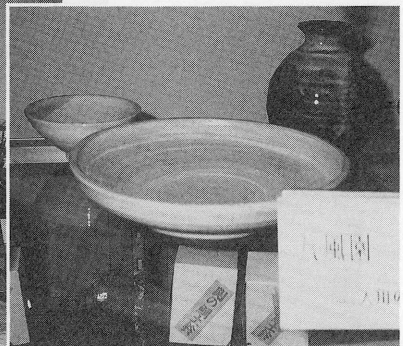


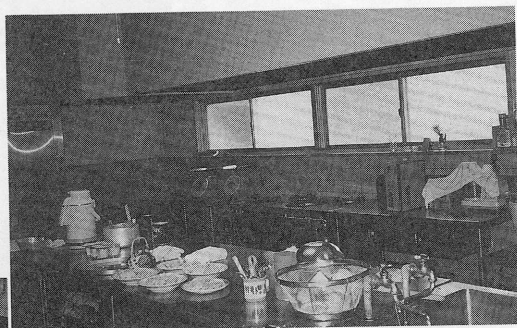
椎茸袋入れ

椎茸袋入れ授産室

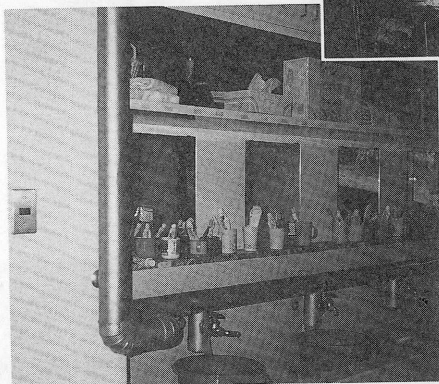


陶芸品





調理室



洗面所



▲◀園生のミーティング

